

各 位

平成 14年 4月 22日

会 社 名	富士通コンポーネント株式会社
コード番号	6719
問合せ先	取締役総務部長 望月 晴夫 TEL (03) 5449 - 7000
当社の親会社 代表者名	富士通株式会社 代表取締役社長 秋草直之
コードNO	6702 東証、大証、名証 各市場1部

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13年 10月 24日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 14年 3月期通期業績予想数値の修正(平成 13年 9月 17日 ~ 平成 14年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 10月 24日 発表)	19,500	△ 300	△ 300
今回修正予想(B)	16,621	△ 1,932	△ 1,952
増減額(B-A)	△ 2,879	△ 1,632	△ 1,652
増減率	△ 14.8	△ 544.0	△ 550.7
前期(平成13年 3月期)実績	-	-	-

2. 14年 3月期連結通期業績予想数値の修正(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 10月 24日 発表)	26,500	△ 1,000	△ 2,000
今回修正予想(B)	46,204	△ 7,920	△ 11,382
増減額(B-A)	19,704	△ 6,920	△ 9,382
増減率	74.4	△ 692.0	△ 469.1
前期(平成13年 3月期)実績	-	-	-

(注) 前回発表予想は平成 13年 9月 17日から平成 14年 3月 31日の数値で公表いたしましたが、今回修正予想につきましては、持分プーリング法の適用により平成 13年 4月 1日から平成 14年 3月 31日の数値であります。

3. 修正理由

世界的なITバブルの崩壊により、電子部品需要は未曾有の受注低迷となり、米国においてはようやく在庫調整が終息しつつある動きが見られますが、景気回復には及ばず、グループ全体での事業構造改革に取り組みましたが、売上高の大幅減少および価格競争の激化に伴う採算悪化により、単独・連結業績とも前回予想を大幅に下回る見込みであり、業績予想を前記のとおり修正いたします。

[参考数値]

参考数値として、平成 13年 10月 24日発表いたしました、みなし連結通期業績予想を次のとおり修正いたします。

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 10月 24日 発表)	51,200	△ 5,200	△ 8,600
今回修正予想(B)	46,204	△ 7,920	△ 11,382
増減額(B-A)	△ 4,996	△ 2,720	△ 2,782
増減率	△ 9.8	△ 52.3	△ 32.3
前期(平成13年 3月期)実績	-	-	-